

37 ホッテンロート著 ベルンホフ訳 『古代及び現代諸民族の服装』, 新シリーズ (仏訳版)

**Hottenroth, Friedrich. Le costume chez les peuples anciens et modernes ; nouvelle série, traduction par John Bernhoff. Paris, L. Derepas, [189-?] 213p. with illus. 23.5×16.0 cm <383.13-H>**

Hiler p. 447 Colas 1490

『ドイツ衣服のハンドブック』Handbuch der deutschen Tracht. Stuttgart, 1893—1896 <383.134-H>のフランス語版である。フランス語版のタイトルには明記されていないが、原本のタイトル通り、古代ゲルマン民族に始まり19世紀に至るまでのドイツ地方の服装を図解したものである。ホッテンロートはこの著作に先立って服装史の大著を刊行しており、それに対する追録として出版されたのが本書であり、新シリーズと銘打ったのはそのためである。先に刊行されたのは『古代及び現代民族の衣服, 家具, 野外の道具, 武装と武器』Trachten, Haus-, Feld- und Kriegsgeräthschaften der Völker alter und neuer Zeit. Stuttgart, 1844~1891. フランス語版では Le costume, les armes, ustensiles, objets mobiliers etc. chez les peuples anciens et modernes. Paris, 1886—1891? <383.1-H> と題する大著で、古代の諸民族から18世紀のヨーロッパ諸国まで、衣服や装身具類を豊富な図版によって網羅している。これに対して本書は、ドイツのみに焦点を当てているところが特徴であり、別冊として刊行された意義もそこにある。

第1部はフランク族やアングロサクソン族, ゴート族などゲルマン諸民族の衣服, 装身具, 武具を, 現存資料やローマ人の遺品などから再現している。(9世紀まで)。第2部はオリエント(ビザンチン)影響下の10~13世紀, 第3部はフランスとブルゴーニュの影響が見られる14, 15世紀。第4, 第5部は16世紀を, そして第6部で17, 18世紀をとりあげている。

ホッテンロートの手になる図版とその解説文で構成されており, カラープレートが28枚加わる。図版は質量とも豊富であり, ディテールの入念な表現は理解を深めるのに役立つ。ゲルマン諸民族の風俗もさることながら, 中世ドイツの女性の多様なかぶりもの, ストラスブルクやニュールンベルク, ダンツィヒなどの都市で18世紀にみられる特異な民族服など, 独特のドイツ色に興味がかかれる。

ホッテンロート(1840—?)は本書に続いて, 16世紀からのドイツ民族服に焦点を当てた著作を刊行している。19世紀末期はラシネをはじめ, 古典的な服装史の大著が続いて出版された一つの黄金期である。これらの著書は図版を豊富に集めた服装史の辞典といった類の書であり, 史的考察よりは各国, 各民族の衣服形態そのものへの関心が強く, 作画能力と資料収集に依存している。本書もこの線上に製作刊行されたものである。(注)